2014(H26)年10月1日　＜Vol.2014-No.54＞

都志見新聞

(医) 医誠会都志見病院
http://www.tsushimi.jp
発行枚数　500部
発行月　1,4,7,10月
発行人　都志見病院 広報部

第4回　出前講座
"がん"について知っておこう in 須佐

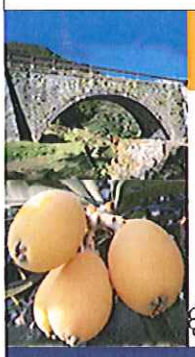
都志見病院の「がんについて知っておこう」第４回出前講座を平成２６年７月１２日(土)、須佐公民館にて開催致しました。

講演は、山本副院長の【知っ得！納得！「がん治療」】から始まり、山口県は他の地域と比較して、検診の受診状況が良くないことや、一部の領域ではロボットを使った遠隔手術が始まっていることなど、がん治療に関する最新の情報をお伝えしました。続いて、兼本管理栄養士から、「NSTってなに？～合言葉は食べちょるる」と題し、当院の栄養管理についてお話しました。栄養管理サポートチームによる回診の様子や食事に関する工夫などをお話しました。その次に、私から「がんのお薬～病院薬剤師と薬局薬剤師～」と題し、がん化学療法における薬剤師の役割と、調剤薬局との連携、おくすり手帳の活用についてお話しました。開催に併せて、看護師による血圧測定も行いました。患者サロン「だいだい」についてもご紹介致しました。

非常に蒸し暑い中、２９名の方にご参加頂きました。被災から約一年が経過しようとする時期でしたが、周辺では復旧工事が絶え間なく行われており、災害がどれほど甚大であったかを再認識いたした次第です。がんという病気について啓発活動を実施することが、がんの早期発見・治療に繋がるとの観点から、出前講座を始めてまいりましたが、今後も、色々な地域にお伺いし、継続して活動してまいります。

次回は三見地区で開催する予定です。

文責　薬剤部長　玉一寛之

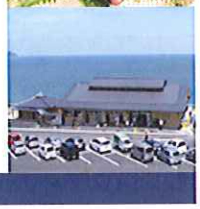


第5回 出前講座のお知らせ

日 時　平成26年12月13日(土)
10：30～12：00（10：00開場）

場 所　三見公民館

入場無料・申込不要です



ナースのひとこま

固定チームナーシングの発表（中国四国地方会・全国大会）に行ってきました!!

岡山編

7月12日（土）岡山県で開催された「固定チームナーシング中四国地方会」に３階病棟Ｂチーム活動の『１５分カンファレンスで看護の統一を図る』というテーマで山縣千恵さん・山中喜絵さんの２人が発表しました。発表は全８題で、午後からは西元勝子先生・杉野元子先生から固定チームナーシングに関して講義があり、いろいろとアドバイスも頂戴しました。今回の中四国研修会のテーマが、「現状分析から問題解決へ」でありテーマとは差異があったため、次回チャンスがあればよりテーマに即した内容での発表を心がけたいと思いました。他院の発表を聞いていると、当院の看護のレベルが他院と比べても全く遜色ないと感じることができました。

発表者の山縣さんは大きな大会は初めての経験で、行く前までは不安と緊張でいっぱいでしたが、発表後は「とても勉強になった」と感想を述べ、看護師として一回り大きく成長することができたと思います。発表というと腰が引ける人も多いと思いますが、自身のステップアップのためにもドシドシ参加して欲しいと思いました。

３階病棟　小田美佳子

神戸編

9月14日（日）神戸ポートピアホテルで開催された「固定チームナーシング全国研究集会」に６階病棟Ａチームの『外科病棟における５Ｓ活動の取り組み』というテーマで大蔵真由美さんが発表しました。多忙な外科病棟において看護業務の効率化とリスクマネジメントの観点からの活動を発表しました。１５会場に分かれ計１８６題の発表がありました。看護部は何度もこの大会に参加していますが、全国からの発表に『看護への熱い思い』を感じることができ毎回感動があります。中でも川嶋みどり先生が『安全性と安楽性（尊厳）の両立～看護が先導すべき新たな病院文化～』というテーマでされた基調講演は、看護の原点に返り、今の臨床での自分達の看護を振り返る貴重な機会を頂きました。この経験を次の看護に生かしていきたいと思います。

６階病棟　池部敦子

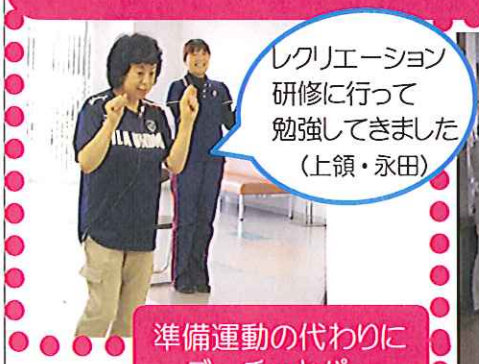
職員のユニホームを新しくしました！！

看護職員のユニホームは、ワンピース型から動きやすさを重視し、Ｈ１４年にズボン式上下に変更しましたが、夏季がとても暑く、汗だくで看護業務を行っていました。長年、職員から夏季は「暑くて堪らない、涼しいユニホームが着たい。テレビの救命病棟の松嶋菜々子のように颯爽と見えるユニホームが着たい」と要望が強く、１２年振りに胸元がＶカットの「スクラブ」型を取り入れました。とても涼しく、看護業務が快適に行うことが出来効率も上がっています。洗濯も簡単でクリーニングも不要です。清涼感が漂いとてもスマートに見える（??）のも特徴です。看護師は２色（ワイン色・紺色）看護補助者（パープル色）クラーク（ピンク色）に変更しました。リハビリ職員も同様の理由で新しく（濃いピンク色）しました。それぞれ色が濃くなり、斬新に見えますが、デザイン的には好評です。外見だけでなく、新規一点中身も颯爽とケアが提供できるように頑張ります。

患者サービス向上委員会からのご報告

7月15日“誰でも出来る!!楽しく体操～動かして、心も体もリフレッシュ”

講　師；石田恵ケアマネージャー
参加者；患者様15名、職員12名でした



準備運動の代わりに
グーチョキパー

ミニ運動会

9月30日　“ミニ運動会”
14：00から東館1階で行いました。
たくさんのご参加ありがとうございました。
1時間でしたが良い汗かけましたね！！

聖火リレー

わ～!!奪い合い

玉入れ

職員クラブ
『TSD（ソーシャルダンス）クラブ』設立！

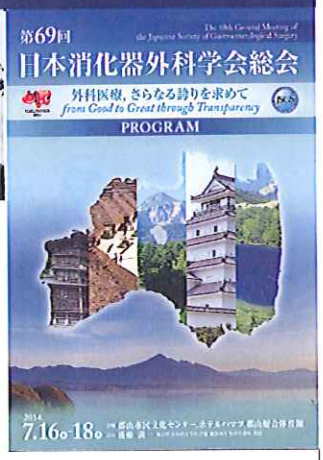
4月より同好会として発足しておりましたが、参加メンバーも増え、晴れてクラブに昇格いたしましたTSD（都志見ソーシャルダンス）クラブです。月に2回、LGダンスホールにて沼田先生（ご夫妻）よりレッスンを受けています。

楽しみながらダイエット・アンチエイジング・健康増進・認知症予防ということをスローガンに活動しています。実際に腰痛が改善したり減量に成功したりメンバーからは嬉しい報告も聞いています。

めざせ社交ダンス競技会!!　夢のまた夢ですがメンバー一同頑張っております！

学会発表してきました

第69回 日本消化器外科学会総会



H26年7月 福島県郡山市で開催された日本消化器外科学会において、得能と山本が演題発表いたしました。

タイトル

得能 『当院で経験した急性腸管虚血の３手術例』

山本 『FDG-PET検査が診断に有用であった虫垂癌の１例』

郡山市内には宿泊施設が少ないため福島市(新幹線で１５分)に宿泊する羽目になり新幹線で通いました。

学会の合間に会津若松市を訪ねました。会津若松城や白虎隊の学び舎「會津藩校 日新館」等の歴史的建造物が見事に再建された姿には圧倒されるとともに史実を正確に後世に残すという姿勢に感銘を受けました。

また、白虎隊自刃の飯盛山では線香が絶えることがなく地元の方々の琴線に触れた感じがしました。

緩和ケア外来開始について

平成２６年１０月より月に２回緩和ケア外来を開始します。

専従看護師を配置し緩和ケアチームと連携しながら緩和ケアを整備していきます。

当面、院内紹介が中心ですが軌道にのれば予約制で院外紹介に対応できる体制を作りたいと思います。

漢方外来開始について

平成２７年１月より漢方外来の開始を計画しています。

西洋医学では解決できない病態を漢方診療の切り口から解決の糸口を探っていく予定です。

北浦地区はもちろん山陽側でも漢方専門外来は少なくこれまで萩市外でしか受けられなかった漢方診療が可能になります。

また、離島やへき地のため当院への受診が困難な場合には、お近くの診療所と当院漢方外来をオンラインでつなぐことによって漢方診療を行うことも計画しています。当面紹介予約制での開始になると思われます。診療医、診療内容等詳細については次号に掲載いたします。

くすのき保育園

開園3年を迎えました！

8月1日にくすのき保育園は開園から3年を迎えました。開園当初は園児2名でスタートしましたが、今では0歳児6人、1歳児6人、2歳児1人の合計13名の園児が毎日元気に登園してくれています。利用者にとって、“あって良かった！”と思ってもらえる存在価値のある保育園であるよう、これからも初心を忘れず頑張ります。

9月のイベント

消防署見学

消防署見学へ行ってきました。
車両に乗せてもらったり、放水体験をしたり、子どもたちにとっては、ワクワクドキドキな一日だったでしょう！

10月のイベントは
運動会です！お楽しみに♪

園児募集中

子育てと仕事の両立をサポートします！
見学・資料等お気軽にお問合せ下さい。
連絡先 ／ TEL 0838－22－2811　総務課